

令和4年度 第1回小樽市新総合体育館整備検討委員会 議事録

開催日時：令和4年8月8日（月）14:00～15:15

開催場所：小樽市教育委員会第1会議室

出席状況 ○委員・・・8名

中川委員長、柴田副委員長

吉田委員、岡本委員、鍛冶委員、奥山委員、渡邊委員、廣瀬委員

○教育委員会・・・7名

林教育長、薄井部長、鈴木次長、近藤主幹、富樫課長、原田主査、浪岡主事

○株式会社建設技術研究所（委託業者）・・・2名

1. 開会

2. 委嘱状交付

3. 教育長挨拶

- ・【教育長】委員をお引き受けいただき感謝申し上げます。市民の皆さんが大切にしている新総合体育館の建設に向けた協議が始まることを改めて感じた。どのような基本構想ができるか期待をしている。現総合体育館は、札幌オリンピック開催2年後に竣工し、半世紀にわたり、市民に愛されてきた施設である。しかし、スポーツ施設に求められるニーズの変化、耐震性等の観点から、総合体育館の建替えは重要な課題である。スポーツを愛好する市民にとって、待ちに待った施設である一方で、2045年には、小樽市の人口は6万人まで減少することが予想されることから、将来の本市の姿を見据えた検討が必要となる。施設本来の機能の他、賑わい創出する機能が求められている。永く市民に愛される新総合体育館となるよう基本構想をまとめていただきたい。今後、活発な議論が行われることを祈念して挨拶とする。

4. 委員紹介

5. 小樽市新総合体育館整備検討委員会の設置及び運営に関する要綱について

- ・事務局より「小樽市新総合体育館整備検討委員会の設置及び運営に関する要綱」について説明。

6. 委員長の選任及び副委員長の指名について

- ・【事務局】小樽市新総合体育館整備検討委員会の設置及び運営に関する要綱第3条第2項の規定により、委員長は委員の互選により、副委員長は委員長の指名により選任する。ご意見はあるか？
- ・【委員】中川委員にお願いしてはどうか？
→【一同】異議なし。→【事務局】委員長は中川委員にお願いする。
- ・【中川委員長】本基本構想は、人生100年時代を見据え、全市民の健康増進計画を考えた計画としたい。また、新総合体育館は、北海道内外でも評判となる施設となることを期待する。委員の皆様にはご協力をお願いしたい。
- ・【中川委員長】小樽市新総合体育館整備検討委員会の設置及び運営に関する要綱第3条第2項の規定により、副委員長は柴田委員を指名する。

7. 議事

(1) これまでの経緯と市総合体育館の現状と課題について

- ・ 事務局より資料2「これまでの経緯と総合体育館の現状と課題について」説明。

(2) 新総合体育館基本構想の構成について

- ・ 事務局より資料3「新総合体育館基本構想の構成」、資料3別紙「アンケート調査項目について」説明。
- ・ 【事務局】アンケート調査については、人口推計等の背景も説明の上、ご回答いただく。また、アンケート調査には、基本構想のほか、次期計画である基本計画など将来活用する質問項目も含まれている。最終的なアンケート案については、書面にて改めて委員にお諮りする。
- ・ 【委員】無作為に抽出するとのことであるが、どのように抽出を行うのか？ また、利用団体アンケート調査は、小中高の部活動も対象としていただけるのか？ 部活動の大会利用が想定される。
- ・ 【委員】令和5年度から、部活動を外部委託することが検討されている。そのような状況も踏まえて検討いただきたい。
- ・ 【事務局】市のシステムとして、市の住民基本台帳から無作為に抽出することが可能である。年齢は成人の方を対象とする。利用団体アンケート調査については、スポーツ協会に加盟している団体を想定している。中体連や部活動については、アンケート調査は予定していないが、委員にご意見を伺い検討したい。
- ・ 【委員】市民アンケート調査の配布数を2,000部に限定している理由は何か？QRコードを利用し、インターネット上での回答を可能にすることで、更に多くの回答が収集可能である。
- ・ 【事務局】小樽市の特性として、高齢者が多く、インターネットを利用していない方が多いため、回答者に偏りが発生することを懸念している。2,000部実施すれば、500～600部の回収が期待できると考え、配布数を設定した。
- ・ 【委員】調査手法として、属性の偏りを補正することとは可能である。インターネットであれば、簡単に回答が得られ、統計処理も簡単であるため、検討してはどうか？
- ・ 【事務局】どの様な方法があるか、委託事業者と協議したい。
- ・ 【委員】体育館とプールが同一施設に設置されている事例は少ないのか？
- ・ 【事務局】今回紹介した事例は、近年整備された施設、またPFI手法で整備された施設の事例を抽出した。それに限らなければ、少ないながらも事例はある。
- ・ 【委員】今回の検討にあたって、比較となるような事例を示していただきたい。
- ・ 【事務局】承知した。

- ・ 【委員】 先行事例から、余熱利用施設はごみ処理施設に隣接している必要があるのか？
- ・ 【事務局】 お見込みのとおり。ごみ処理施設を整備する際に、地域還元施設としてプールが整備される場合が多い。本市では、ごみ処理施設に隣接していないため、余熱利用は想定していない。
- ・ 【委員】 余熱を利用することで費用は安くなるのか？
- ・ 【事務局】 余熱利用分のみランニングコストが安くなる。
- ・ 【委員】 全道・全国大会規模の大会が開催できると望ましい。現在、小樽市では全道大会を開催できていない。どのような団体に調査するのが望ましいかは分からないが、そのような調査を行うことは可能か。
- ・ 【事務局】 利用団体への調査の中で、中体連・高体連に調査することは可能である。
- ・ 【委員】 アンケート調査を行う際に、障がい者の団体にも調査を実施していただきたい。オリンピック・パラリンピック開催により、障がい者の競技が注目されている。新総合体育館でそのような競技を実施したいというニーズがあるかを調査していただきたい。
- ・ 【事務局】 検討する。
- ・ 【委員】 先行事例で紹介された、特産物販売所は大変よいと思われる。小樽市では、広い駐車場がある場所が限られている。
- ・ 【事務局】 小樽市総合体育館長寿命化計画の中で、市民交流スペースの設置について記載している。本委員会でご意見をいただきながら、市民交流スペースの具体的な内容を検討したい。
- ・ 【委員】 体育館の中に、そのような無料で利用できるスペースがあるとよいと思う。
- ・ 【委員】 市民の中には、引きこもりの方も多くいらっしゃる。スポーツ推進委員会では、そのような方に対し、歩こう運動などへの参加を呼び掛けている。日々の運動状況も調査項目として含めた方がよいのではないか。
- ・ 【事務局】 属性の項目で、運動状況に関する質問を追加したい。
- ・ 【委員長】 本日の皆様のご意見を反映させたくうえで、ご承認いただいたということによろしいか？
- ・ 【一同】 異議なし。

8. その他

【事務局】 帯広市総合体育館（四つ葉アリーナ十勝）の視察を8月30日（火）に実施したい。朝8時半頃に小樽市を出発し、午後から1時間半～2時間程度視察を行い、18時～19時頃に小樽市戻る予定である。後日、事務局より詳細をご連絡する。

9. 閉会